

# 感染症情報 6月19日～25日

府下小児科192医療機関(堺市19)から

①ヘルパンギーナ	1,468例(堺市	105例)
②感染性胃腸炎	712例(堺市	57例)
③RSウイルス感染症	502例(堺市	48例)
④溶連菌感染症	469例(堺市	65例)
⑤咽頭結膜熱	170例(堺市	20例)

府下292医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ** 159例(堺市 17例)

前週比1.7%増の3,571件の報告数であった。ヘルパンギーナが府下で17%増、堺市で149例→105例であった。定点当たりは府下が6.55→7.65で、堺市は7.84→5.53。感染性胃腸炎が府下で前週比15%減、堺市で前週75例→今回57例であった。RSウイルス感染症が府下で3%減、堺市で67例→48例であった。定点当たり大阪府が2.70→2.61、堺市が3.53→2.53。溶連菌感染症が府下が9%減、堺市で前週55例→今回65例。咽頭結膜熱が府下で1%増、堺市で前回11例→今回20例であった。

インフルエンザが府下で前週190例→159例で16%減、堺市で前週18例→今回17例であった。定点当たり大阪府は0.65→0.54、堺市で0.62→0.59であった。

府下292医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症** 1,506例(堺市 177例)  
大阪府定点 5.16 堺市定点 6.10

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
58	101	96	311	175	129	157	210	95	103	71	1506

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週1,324例→今回1,506例で14%増、定点当たり4.55→5.16に、堺市は前週179例→今回177例で1%減、定点当たり6.19→6.10であった。前週と今回とも、大阪府の11ブロックで堺市ブロックが定点当たりのワーストになっている。

麻疹や風疹の報告はなかった。